

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム なごみ 水巻作成日: 平成 25 年 03 月 18 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	終末期ケア	終末期ケアの支援が必要となることが予想されるため、早急に終末期ケアに関する指針を作成する。支援方法については職員研修を定期的に行っていくことで入居者が安心してホームで生活できる支援体制を確立していく。	事業所内研修にとどまらず事業所外研修にも積極的に参加し、終末期ケアの知識を習得する。研修後は報告を兼ねた勉強会を開催し、職員全員に情報を共有して入居者が住み慣れた地域で自分らしく生活を送れるよう支援方法を確立する。	6ヶ月
2	37	災害対策	非常災害時に備え定期的に避難訓練を実施するとともに、夜間想定訓練も時間のある時に実施することで、いざという時に慌てない対応ができる体制を確立する。	職員だけではなく地域住民にも協力をお願いし、避難訓練に参加してもらう。またホームでは非常災害時における非常食や飲料、毛布等の備蓄を進める。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。